

# 社会資本総合整備計画(第2回変更)

かくだこうりゅうきよてんちくとしさいせいせいびけいかく  
角田交流拠点地区都市再生整備計画

みやぎけん かくだし  
宮城県 角田市

平成28年12月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

平成28年12月7日

計画の名称	角田交流拠点地区都市再生整備計画			重点配分対象の該当
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)	交付対象	角田市	
計画の目標				

角田交流拠点地区は、角田市の中心に位置し、角田中央公園に集中した多彩なスポーツ・レクリエーション施設、台山公園にそびえ立つ「H-IIロケット」の実物大模型及び第三セクターの阿武隈急行線といった独特な地域資源を有している。また、角田山元トンネルの開通にあわせて一般県道角田山下線が整備されたことにより常磐自動車道山元インターへのアクセス性が向上している。これらのことにより、様々な地域資源を有機的に組み合わせ、交流人口拡大、定住促進及び想像力豊かな人材育成を図ることとし、次の目標を掲げている。

第一として、訪れる人々が安らぎと親しみを持つまちづくりを図る。そのため、角田中央公園付近に道の駅を整備し、道路利用者への市内観光情報提供、地元農産物の販売並びにスポーツイベントとの連携などを行う賑わいの交流拠点とする。

第二として、市民誰もが住む喜びと誇りを抱き、魅力あふれるまちづくりを図る。そのため、「住みよいまちづくり調査」を行い、公共交通を中心としたコンパクトなまちづくりを推進する。また、市民交流・文化交流の拠点である市民センター施設を整備する。

第三として、探究心を満たし、創造力豊かな輝く人材を育むまちづくりを図る。そのため、「スペースタワー・コスモハウス学習棟」を整備し、「観て、触れて、体験する」をテーマにした新企画を展開していく。

計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流人口を660,000人(基準:平成23年度)から800,000人(平成29年度)に増加</li> <li>人口(基準:平成24年度 31,364人)は減少傾向にあるが、政策誘導により30,100人(平成29年度)を確保</li> <li>新規に整備する「スペースタワー・コスモハウス学習棟」において学習会・企画展を年12回(平成29年度)開催</li> </ul>											
定量的指標の定義及び算定式												

	定量的指標の現況値及び目標値			備考								
	当初現況値	中間目標値	最終目標値									
市外入込交流人口と市域内交流人口を合わせた人数の比較。様々な地域資源の機能強化と利便性向上を図ったことによる交流人口拡大を示す。	660,000人	—	800,000人									
国勢調査を基準とした推計人口と政策誘導人口を合わせた人数の比較。政策誘導により、市民が住みよさを実感し、定住人口が確保されたことを示す。	31,364人	—	30,100人									
新規に整備する「スペースタワー・コスモハウス学習棟」において学習会・企画展を開催。宇宙科学などの学習の機会が増加したことを示す。	0回	—	12回									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,108.6百万円	A	1,108.6百万円 (うち総事業費115.1百万円)	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H25	H26	H27	H28	H29				
1-A-1	都市再生	一般	角田市	直接	角田市	角田交流拠点地区都市再生整備計画	高次都市施設、住みよいまちづくり調査等	角田市						1,108.6			別添
合計													1,108.6				

B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計													0				

C 効果促進事業 (該当なし)															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業 (該当なし)															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H26	H27	H28	H29	
配分額 (a)	22,682	46,100	58,500		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	22,682	46,100	58,500		
前年度からの繰越額 (d)	36,149	7,052	3,801		
支払済額 (e)	51,779	49,351			
翌年度繰越額 (f)	7,052	3,801			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-			

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3)

計画の名称	角田交流拠点地区都市再生整備計画	交付対象	角田市
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)		

